

LIBERA

[リベラ]

VOLUME

84

2015

The World is Your Campus

特集
グローバルな学びが未来を広げる!

2016年4月
いよいよスタート
国際学部開設
決定!



大阪経済法科大学

経法大の強さをアピールしたい!

kirari
活躍する
経法生



卓球部

経済学部 経済学科
3年生
石黒 翼さん

8月12・13日の2日間、京都府の向日市体育館で開催された全日本大学総合卓球選手権大会関西予選(個人の部)。416名の選手が14のブロックに分かれて、本戦出場権をかけて試合に臨みました。本学体育会卓球部所属の石黒翼さんは、この予選を見事勝ち抜き、本戦出場権を獲得。10月22・25日にかけて京都市体育館で開催される本戦では、全国の強豪選手と競い合うこととなります。この本戦に向けての意気込みや、卓球への想いなどについて、石黒さんに語ってもらいました。

チームでは1部リーグ復帰を目標に頑張っています。

もともと両親が卓球選手ということもあり、「僕もやってみよう」と初めてラケットを握ったのは小学4年生の時。以後は両親の指導を受けながら卓球にのめり込み、高校の卓球部では3年連続で全日本大会に出場することもできました。経法大には、スポーツ推薦で入学。経法大の卓球部はチームのムード

が良く、楽しく卓球に打ち込むことができている。

今、チームは関西学生卓球連盟の2部リーグに所属。ずっと1部リーグの常連校だったので、昨年、2部に降格してしまったんです。今年の秋のリーグ戦で優勝すれば1部に復帰するチャンスがあったのですが、結果は2位。悔しかったですね。みんなですらに練習を重ね、まずは1部に再昇格することがチームとしての当面の目標です。

自分のためだけでなく、
チームのために勝ちたい。

全日本大学総合卓球選手権大会のシングルス関西予選では、みんなの応援がとて心強く感じられました。決定戦まで勝ち進んだのは、経法大では僕だけ。チームの期待を受け、団体戦のような気持ちで試合に挑めたと思っています。

僕自身は、試合に勝つということにはそれほど強いこだわりを持っていません。それよりも、卓球を通じて人間



性を養うという考え方を大切にしてきました。ですが、全日本大学総合卓球選手権大会のシングルス本戦では、勝ちたいという気持ちが強いんですね。ここ最近、経法大は大会で目立った成績を収めていません。ですから自分が活躍して、全国に「経法大は強い」とアピールしたいんです。具体的には、ベスト16まで勝ち進み、ランク入りすることが目標。難しいとは思いますが、リーグ戦でのみんなの悔しさを晴らすためにも頑張りたい。応援を、よろしくお願いします!



CONTENTS

02 【特集】
グローバルな学びが
未来を広げる！
The World is Your Campus

03 在学生VOICE
川崎建人さん

04 留学生VOICE
ティホノヴァ・アナスタシヤさん

05 卒業生VOICE
石谷将太さん

06 教員VOICE
菅原絵美准教授

07 国際学部スタート

08 Pickup Seminar
経済学部 | 経済学科
高橋慎二ゼミの挑戦

09 クローズアップ 経法

12 2015年度大学事業計画の概要

2015年9月30日発行

【編集】大阪経済法科大学事務局庶務課
〒581-8511 大阪府八尾市湊音寺6丁目10番
TEL 072-941-8211 FAX 072-941-4426

<http://www.keiho-u.ac.jp>



The World is Your Campus

OSAKA UNIVERSITY OF
ECONOMICS AND LAW

グローバルな学びが未来を広げる！

政治経済・社会・文化のあらゆる分野においてグローバル化が進展している現代社会。発生する問題の多くは、地球規模で捉えなければ解決できません。そのためにもグローバル人材の育成が強く求められています。

大阪経済法科大学では「教育研究を通じて人権の伸長と国際平和への貢献」を建学の理念の要諦の一つに据え、創立以来長年にわたって国際交流・教育を自らの使命としてきました。そして、トロント大学・ロンドン大学・北京大学・ハワイ大学など世界22カ国・地域、57大学の提携大学を擁し、留学や海外体験プログラム等を長年にわたって実施しています。

このようなグローバルな学びの中から得たものについて、在学生・留学生・卒業生、教員それぞれの視点からお話していただきます。

在学生 VOICE

The World is Your Campus
01

ロンドン大学での挫折と 鍛えられた英語力。 夢は、海外での活躍。

経済学部 経済学科 3年生

川崎建人さん

留学先



ロンドン大学SOAS / イギリス



八尾駅前キャンパス(オーバル)図書館での川崎さん

狙うは世界最高レベルの
ロンドン大学。

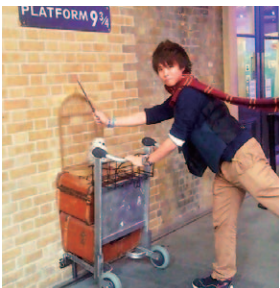
高校時代、部活動終了後に海外留学をしたいと漠然と考えはじめ、卒業後すぐフィリピンに短期留学へ。TOEIC®のスコアは145。英語力は不足していましたが、留学経験は、英語を使って現地の人と深い話をしたという思いを強くさせてくれました。その後、経法大へ進学。入学後すぐのTOEIC®のスコアは290。まだまだ最低のレベルでした。その後、英語漬けとなる猛勉強の毎日。英語への苦手意識があった私は、基礎から学修を積み上げました。先生にも個別に相談しました。留学先は、最初、英語圏ならどこでも良いと考えていましたが、友人の「ロンドン大学に留学したい」とい



ロンドンでの挫折で得た
英語力を身につける気持ち。

う一言が印象に残りました。世界的に最高レベルのロンドン大学。とても手が届かないように思いましたが、必死の勉強でTOEIC®のスコアは610まで上昇。念願だったロンドン大学への留学が決定しました。

ロンドン大学留学の壁は想像以上に高いものでした。ヒースロー空港では、入国審査官の英語を何一つ聞き取ることができませんでした。最初の1ヶ月間、英語で話すことに、聞くことに、書くことに、全てが恐怖の連続。一方、他の日本人留学生は、難なく英語で話しています。自分と他の日本人留学生との違いは何か？色々考えた結果、生まれ持った素質の違いではなく、「やるか、やらないか」、



留学中のロンドン、キングス・クロス駅



将来は、英語を使って
海外で活躍したい。

留学を終え帰国する際に決意したことは、「また必ず海外に出る」ということ。卒業後は、留学生活の中で培ったネットワークを活かして、まずは、一般商社・貿易関連企業に勤め、将来的には自分の会社を営営することを目標としています。海外での業務を行うにあたり、日本企業で求められるTOEIC®のスコアは一般的に850以上とされています。今後は、夢の実現に向け、このスコアに到達するよう、精力的に勉強を続けていきたいと考えています。

K A W A S A K I K E N T O

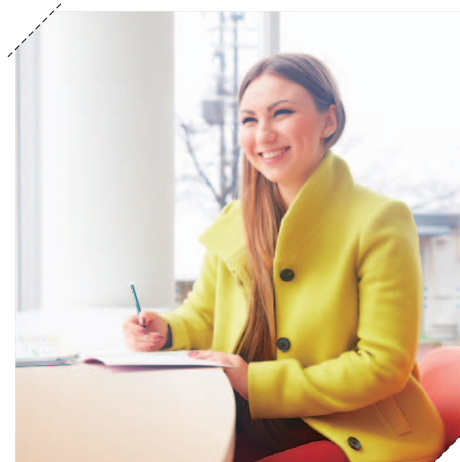
留学生 VOICE

The World is Your Campus
02

観光会社を経営し、 日本とウクライナの 架け橋になりたい。

経済学部 経済学科 3年生
ティホノヴァ・アナスタシヤさん

出身大学 ▶ タラス・シェフチェンコ記念
キエフ国立大学／ウクライナ



花岡キャンパス・クロノス1階での一枚

り断念しました。そんな時、両親から日本という遠く離れた国のことを聞きました。いつしか、日本への留学が私の夢になりました。高校卒業後、キエフ国立大学に進学しました。そこには、ウクライナ随一の日本語学科があり、進学すれば夢が叶うかもと考えたのです。入学後、選考を経て、大阪経済法科大学への交換留学生に選ばれました。夢が実現したのです。

友人知人の奔走で、
日本での学びを継続。

自文化と全く違う言語、文化の中での生活は、想像以上に辛いものでした。しかし、「努力をすれば、苦しみの先に、必ず活路が開ける」と信じ、日本語の勉強、授業の予習・復習に、人一倍頑張りました。大学

行事にも積極的に顔を出しました。前向きにチャレンジしているうちに、徐々に、日本での生活が楽しくなりました。日々は瞬間に過ぎ、帰国の日がやってきました。帰国前日、ウクライナで内戦が勃発。家族や友人は全員無事でした。ほっとしたのも束の間、キエフ空港付近でデモが起こり、キエフ国立大学が閉校となったというニュースを聞きました(幸いにも、現在は、治安が安定し、通常通り授業が行われています)。私は、帰国して、ウクライナで勉強が継続できるのか分からないが、ともかく、留学期間は終わったので帰国しなければならぬと、空港に向かいました。その時でした。ウクライナに帰国させるわけにはいかない。学内の関係者をはじめ、友人知人が日本での勉強継続のために奔走してくれ

母国・東ヨーロッパの
良さを日本に伝えたい。

現在、私は観光経済について研究しています。「大阪経済法科大学を卒業した後は、観光会社を経営したい」。それが私の新たな夢となりました。日本では、東ヨーロッパのことはよく知られていません。私の母国を中心に東ヨーロッパ諸国の歴史や文化を日本へ発信し、日本とウクライナの架け橋になりたい。そのために、残された留学期間、言語と観光経済の専門知識を身につけるため、人一倍努力をしたいと思います。

17歳の時から夢だった
日本への留学。

日本への留学を考えたのは、17歳の時でした。最初は、英語圏への留学を希望していましたが、事情によ



花岡キャンパスで授業を受けるアナスタシヤさん

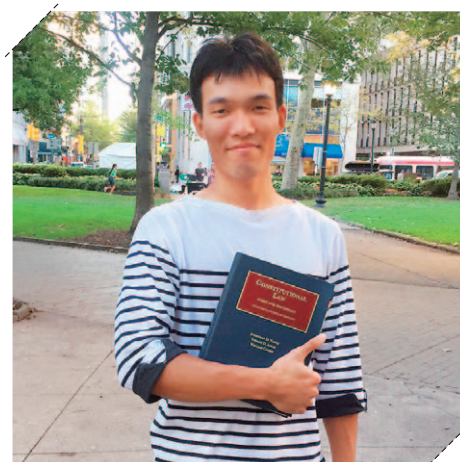
卒業生 VOICE

The World is Your Campus
03

アメリカの司法試験に 合格し、世界で 活躍する法律家に!

2014年3月 法学部 法律学科 卒業
石谷将太さん

進学先 ▶ テンプル大学ロースクール／
アメリカ合衆国



テンブル大学フィラデルフィア本校にて

テンブル大学
ロースクールに入学。

大阪経済法科大学を2014年3月に卒業。その後、テンブル大学のロースクールに進学しました。2014年の秋にテンブル大学の日本校に入学し、翌年からアメリカ・フィラデルフィアにあるテンブル大学本校で学んでいます。

当初、アメリカの大学院へ留学することなど一度も考えたことがありませんでした。海外に目を向けるきっかけになったのは、国際学生交流セミナーへの参加。そこで、韓国、中国、ロシア、台湾の大学から集まった学生たちに出会いました。日本人とは違う「ものの見方や考え方」に触れ、自分には見えていない世界を見てみたいという強い思いが生まれ

英語で法律を学ぶ日々。

ました。その後、海外フィールドスタディ、ロンドン大学への留学に参加。ロースクールに入るまでのギャップイヤーには、ベトナムにある日系企業で4ヶ月ほどインターンシップも体験しました。

海外留学には様々な形がありますが、私は、今、L・M(Master of Laws)に挑戦しています。L・Mとは日本でいう法学修士課程のことです。一年間で学位を取得でき、卒業後はアメリカのいくつかの州で司法試験を受ける資格が与えられます。基本的には、外国人や研究者向けのコースですが、JD(法務博士課程)というアメリカの学生が弁護士になるために必要な学位のコースと同じ

アメリカ司法試験合格を
目指して。

次の目標はアメリカで司法試験に合格すること。そのために、今は、ロースクールの他に予備校にも通い、必死に勉強しています。アメリカの司法試験に合格した後は、グローバル展開する企業の法務部に勤め、法律家としてさらに経験を積んでいき

たいです。

もちろん、アメリカにきて辛いことばかりではありません。メジャーリーグやアメフトをはじめ日本では体験できないような面白いこと、様々な人々との出会いがあります。海外体験は、自分の視野を広げてくれます。少しでも興味があれば、学生時代、語学留学でも、海外旅行でも何でもいいので、まずは日本の外へ出てみることをお勧めします。



留学前、テンブル大学ジャパンキャンパスにて

2015年8月31日付で、大阪経済法科大学・国際学部・国際学科(入学定員140人)の2016年4月設置が文部科学大臣より認可されました。国際学部は、グローバル人材育成をめぐる社会的要請に応え、本学建学の理念「教育研究を通じた人権の伸長と国際平和への貢献」の具現化を図るため、設置が構想されました。

国際学部では、グローバル化する現代社会の諸課題に積極的に対応するため、異文化理解・多文化共生を育み、豊かな国際感覚と優れたコミュニケーション能力を養成します。

皆様方のご期待に応えられるよう新たに開設される国際学部教員をはじめ、全学の教職員が一致協力して教育に取り組む決意を新たにしております。ご支援ご協力をお願いします。



トロント大学(カナダ)



北京大学(中国)



ハワイ大学(アメリカ)



ロンドン大学SOAS(イギリス)



オークランド大学(ニュージーランド)

22カ国・地域の57大学が、キャンパスに!

国際学部のポイント

- 1 1年生から全員が海外体験。卒業までに複数国・複数回、留学可能。
- 2 「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能を磨き、英語力の体幹を鍛える。
- 3 学生の目標に合わせて2コース6モデルのカリキュラムを導入します。
- 4 一人ひとりの夢や希望に応えるキャリア支援体制を整備。

「国際学部開設に寄せて」
高砂 謙二 准教授
担当科目：貿易論・経済学部 経済学科
(2016年4月から国際学部 国際学科 就任予定)

2015年8月、かねてより設置を構想していた国際学部設置申請が文部科学大臣の認可を受けました。40余年前に本学が開学して以来、初めて学部を増設することになり、本学は新たな時代を迎えたと言っても過言ではありません。

私は真新しい運動靴に足をとおし、ワクワクして次の日の運動会での活躍を期待して夜も眠れなかった経験思い出しました。

来年4月からの国際学部第一期生入学を控え、教員としての気持ちも、その時の気持ちに似ています。大阪経済法科大学が開学した時の教職員の気持ちに思いを馳せてみました。おそらく今の私と同じように夢と希望に満ち溢れていたに違いありません。

私は国際学部設置申請の構想段階から携

わっていました。この学部を目指す学生には、「世界に影響を与えたいと思う人」に入学してもらいたい。そして、本学国際学部の教育を通じて、「世界を変える人」になつてもらえと信じています。グローバル化する世界では「誰かのために生きる人生」こそ、新たな日本のグローバル人材のアイデンティティになるものと期待しています。

本学国際学部の卒業生が「世界に影響を与え、世界を変える人間」になれるよう、新しい大阪経済法科大学の歴史と伝統を一緒に創造して行きましよう。

世界に影響を与え、世界を変える人間。

2016年4月、国際学部 国際学科

いよいよスタート!

国際コミュニケーションコース

グローバルキャリアコース



まずは世界に飛び込む。

私の初めての海外体験は、26歳でのアメリカ留学でした。英語に大きな不安を抱えながら、「国際人権法を専門とするからには一度は留学しなければ」という覚悟のもと、とりあえず日本を出た、という遅めの世界デビューでした。

留学したのはアメリカインディアナ州にあるノートルダム大学ロースクールです。このロースクールには国際人権法の特別プログラムがあり、14カ国から19名の学生が集まっていました。学生といっても、弁護士、NGO職員、国家公務員など、私以外は全員実務家でした。クラスメートたちは、授業で示される課題を、知識と実務経験の両面から分



析し、批判も織り交ぜながら、すらすらと英語で論じていきます。私の方は、英語に自信がないうえに、授業でも圧倒され、なんとかついていくのに必死の毎日でした。一方、日常生活は、学生が14カ国から集まっていることもあり、多様性そのものでした。私のルームメートはインドネ

S U G A W A R A E M I



国連での勤務にチャレンジ。

このように遅めの世界デビューでしたが、一旦踏み出してしまえば、自身も環境もどんどん動き出します。雲の上と思っていた国連、そのインターシップにどんどん応募するクラスメートたちを目の当たりにし、「私もやらねば!」と帰国後に応募。二つの国連機関から採用をもらい、ジュネーブ・ニューヨークで3か月ずつインターンとして働きました。このインターシップが次の一歩につながり、帰国後は東京にある国連機



世界で活躍するために求められるのは「自分力」。

関の事務局で2年強働くことになりました。



教員 VOICE

The World is Your Campus 04

まずは一步踏み出す勇氣。
その次に必要なのは「自分力」。

法学部 法律学科
(2016年4月から国際学部 国際学科 就任予定)

菅原絵美 准教授

担当科目:国際法
博士(国際公共政策) LL.M.(ノートルダム大学)



経済学部 経済学科 3年生 義原菜月さん

高橋ゼミでは八尾駅前キャンパスの立地を活かし、商業者・商店街の振興について、八尾市との共同調査研究活動に力を入れています。今回はゼミの活動内容について経済学部・経済学科3年生の義原菜月さんと担当教員の高橋慎二准教授に、お話をいただきました。

【高橋】これまでたくさん活動してきましたが、大学周辺の商業者・商店街を紹介する『やおセレクション』の刊行はとくに印象深い取り組みでした。

【高橋】義原さんが2年生のときには、すでに3年生の先輩学生が実態調査の分析を進めているところでした。義原さんも2年生の秋学期から先輩方との共同研究に加わりましたね。
【義原】先輩方のリードのもと、多くのことを学びました。また、私たちが3年生になったら、今度は先輩と連携して取り組むことになるので、早く主体的に動くことができるようにならないと...という危機感に似たものを持ちながら、資料づくりやディスプレイに打ち込みました。その結果、文章力や人前で意見を伝える力は大きく向上したと思います。今後、先輩との関わり方についてこの経験を活かしていきたいと思っています。
【高橋】『やおセレクション』の取材や編集活動に取り組んでみて、いかがでしたか。
【義原】取材については、紙面の制約上、限られた字数でお店をPRしなければならぬので、何度もしなければならないので、何度も練習直し、そのたびにお店に訪問しチェックしてもらいました。その中で信頼関係が構築され、原稿作成にも弾みがきました。ここでも文章力は相当身についたと思います。また、編集については、デザイナーの方と綿密な調整をしてきました。自分たちの思いをいかに正確に伝えるかという点では苦労しましたが、交渉力が少し身についたように思います。

経済学部 | 経済学科 | 高橋 慎二ゼミの挑戦

八尾市と連携した商店街振興プロジェクト『やおセレクション』発刊

Pickup Seminar

【ゼミ対談】
学生×教員

【高橋】私は、学生には活動して終わりではなく、必ず活動結果を広く報告する機会を設けていくことを心がけてきました。義原さんにも多くの報告機会がありました。が、いかがでしたか。
【義原】『やおセレクション』にかなしては、完成後すぐに田中誠太・八尾市長に表敬訪問する機会をいただき、直接完成を報告するとともに、今後の展開についてもアドバイスもいただくことができました。また、地元FM局のラジオ番組や商店街で開催されたイベントでも、『やおセレクション』について紹介することができました。このような活動を通して、情報を整理して、要点を相手に伝える難しさを痛感し、今後もっとスキルアップさせていきたいと思っています。
【高橋】最後に、これまでのゼミ活動を通して、義原さん自身どのようなことを感じていますか。
【義原】多くの課題や活動を通して、自分自身、さまざまな面で成長できたのではないかと感じています。苦労したことも多かったのですが、活動の大半は一所懸命に取り組む楽しさを感じながらだったので、本当にあつという間でした。なにより、ゼミの仲間には恵まれていたし、尊敬できる先輩方や



▲「やおセレクション 第1号」

経済学部 経済学科 高橋 慎二 准教授
担当科目: 中小企業論 博士(経済学)



CLOSE UP クローズアップ 経法 KEIHO



文化会将棋部 「全勝優勝！」 悲願のA級昇格！」

平成27年度関西西学生将棋連盟春季一軍戦B級最終戦で、本学文化会所属の将棋部が和歌山大学に勝利し、全勝優勝(5戦5勝)を成し遂げ、秋季一軍戦からA級への昇格が決定しました。

6月14日(日)に開幕した一軍戦B級では、初戦の近畿大学に6対1、二戦目の関西大学に6対1、三戦目の甲南大学に6対1で勝利し、3連勝で好スタートを切ることができました。そして翌週に開催された四戦目は大阪市立大学に6対1、最終戦の和歌山大学にも5対2で勝利し、圧倒的な力の差を見せつけたの優勝となりました。

この数年は、B級2位の成績でA級との入替戦に進むものの、勝ちきることができず、A級昇格を逃し、悔し涙を流してきた同部ですが、今回は日頃の練習成果を存分に発揮し、見事自身の力でA級への自動昇格を果たしました。

将棋部 吉田 隼大さんの声
(経済学部 経済学科3年生)

「春のリーグ戦では、自分たちの持っている力を発揮することができ、一軍戦B級で全勝優勝、A級昇格を果たすことができました。今回の成績に満足することなく、秋のリーグ戦では、強豪大学が揃うA級の中で、経法旋風を巻き起こしたいと思っています。」

奄美沖縄会、琉舞・三線友好会 特養ホームで 「沖縄の伝統芸能を 披露！」

6月13日(土)、本学友好会サークル所属団体である奄美沖縄会、琉舞・三線友好会のメンバーが、八尾市にある特別養護老人ホーム「吉兆苑」を訪問し、沖縄の伝統芸能として引き継がれる三線、エイサーを披露しました。

この取組は、同会の地域・社会貢献の一環として、八尾市内にある施設を中心に定期的に実施さ

れているものです。
今回は、同サークルに所属する11名の学生たちが参加し、入所者の前で三線、エイサーを披露すると、観覧していた入所者の方たちも手拍子をするなど、終始、沖縄の伝統芸能を堪能している様子でした。

琉舞・三線友好会代表
友利 青海さんの声
(経済学部 経済学科3年生)

「入所者の方々に喜んでいただくことができ、本当に嬉しく思います。これからも沖縄の伝統芸能を通して、たくさんの方に笑顔になっていただければと思います。」



特養ホームでの公演終了後

体育会女子バレーボール部 「古豪復活へ」

岸和田市総合体育館で、平成27年度関西大学バレーボール連盟春季入替戦が開催され、本学体育会所属の女子バレーボール部が勝利し、5部昇格を果たしました。

同部は、過去に同リーグ戦2部で優勝しているなど、伝統と歴史あるクラブです。昨年の秋季リーグ戦から本格的に活動を再開した女子バレーボール部は、今春新たに新入部員を迎え入れました。2年生部員を中心にした若いチームですが、春季リーグ戦（6部Dブロック）を2位で通過し、6部順位決定戦を勝ち抜き、入替戦の挑戦権を獲得しました。

5月24日（日）に行われた入替戦の対戦相手は、5部リーグ7位の大阪大学。上位リーグ所属校との対戦だけに当初は苦戦が予想されましたが、終始相手を圧倒し、セットカウント3-0で勝利を収め、観戦・応援に駆け付けた保護者や関係者たちの期待に見事応えました。

試合終了後は、練習を共に頑張ってきた部員やマネージャー、卒業生の指導者たちと一緒に喜

びを分かち合いながら、秋のリーグ戦でのさらなる飛躍を誓っていました。

女子バレーボール部

牧宏美さんの声

（法学部 法律学科2年生）

「今年はバレー経験者も入部してくれたおかげで、良いスタートを切ることができました。今回の試合では、皆さんの応援のおかげで5部昇格を果たすことができましたが、この結果に満足せず、4部昇格を目指して頑張っていきたいと思います。」



リーグ戦に向け練習に励む女子バレー部

体育会男子バレーボール部 「全日本ビーチバレーボール 大学選手権に 2年連続出場！」

8月7日（金）～9日（日）の3日間、第27回全日本ビーチバレーボール大学男女選手権大会が川崎マリエンビーチバレーコートで開催され、関西予選を勝ち抜いた男子バレーボール部から2組（4名）が出場しました。

同大会に2年連続で出場を果たした田中翔太（経済学部経済学科3年生）、泉聖史（法学部法律学科3年生）は、法政大学、富山大学との予選リーグを2連勝で突破し、決勝トーナメント進出を決めました。もう1組の仲伊部浩生（経済学部経済学科2年生）、伊藤大史（法学部法律学科2年生）のペアは、初出場からの緊張のせいか、日頃の実力を発揮することができず、惜しくも予選リーグ敗退となりました。

決勝トーナメントに進出した田中泉ペアは、1回戦で優勝候補の鹿屋体育大学ペアと対戦し、最後まで手に汗握る接戦を繰り広げましたが、終盤に突き放され2年連続のベスト8入賞を逃す結

果となりました。観客席からは、最後まで諦めずにプレーを続けた田中・泉ペアに温かい拍手が送られました。

男子バレーボール部

田中翔太さんの声

（経済学部 経済学科3年生）

「今回、2年連続で全日本大会に出場することができましたが、昨年を上回る成績を残すことができず、大変悔しく思います。この悔しい思いを秋のリーグ戦で晴らすことができるよう、チーム一丸となって試合に挑み、必ず上部リーグへの昇格を果たしたいと思いますので、応援の程よろしく願います。」



相手コートにスパイクを放つ田中選手

学生防犯隊

「小学生を守る！」

昨年度に結成されたサークル「学生防犯隊」は、地域住民の方々が安全安心に日常生活を送ることができるよう、八尾市や八尾警察署と連携しながら、青色防犯パトロールカーによる市内小学校周辺の巡回活動（通称・青パト活動）やひたたり防止カーの配布・取付キャンペーンなどのボランティア活動を行っています。

学生防犯隊は、警察官志望の学生たちを中心に、ボランティア活動や地域貢献活動に興味・関心を持った学生たちが集まり結成された団体です。学部や学年が異なる多様な学生たちが参加し、いまや部員は50名を越えました。

毎週定期的に行われている青パト活動には、日替わりで学生たちが参加しています。毎月1回開催されるひたたり防止カーの配布・取付キャンペーン活動には、学生たちが八尾市役所まで足を運び、市役所の職員や八尾警察署員と一緒に、市民の方々の防犯意識向上に向けた活動を行っています。



青色防犯パトロールカーの前で八尾市職員と学生防犯隊メンバー

サークル「学生防犯隊」会長

井上孔介さんの声

（法学部 法律学科4年生）

「私は警察官志望です。青色防犯パトロールカーに乗車し、八尾市役所の方に防犯に関するお話を伺いながら、色々と勉強させていただいています。何度か巡回を続けていると、小学生が手を振ったり敬礼してくれるようになったり、地域との絆を感じることも増え、日々防犯活動が続いていくことの大切さを実感しています。やりがいのある活動ですので、少しでも興味のある方には、ぜひ一度参加して欲しいと思います。」

247名の学生が 資格・検定試験に合格しています。

2015年9月30日現在、日商簿記検定試験、販売士試験、公務員採用試験、法科大学院入学試験等に247名の学生が見事合格しました。今年度後半期には、引き続き、日商簿記検定

試験、宅建士試験、警察官採用試験、主に国公立大学の法科大学院入学試験、税理士試験、公認会計士試験などの各試験が実施される予定です。合格に向け、多くの学生が日々勉学に励んでいます。

資格・検定試験等合格者状況（2015年9月30日現在）

検定試験		220名
ビジネス実務法務検定3級	6名	
日商簿記検定試験2級	7名	
日商簿記検定試験3級	46名	
リテールマーケティング[販売士]3級	16名	
マイクロソフト・オフィス・スペシャリスト(MOS)	145名	

公務員採用試験		13名
国税専門官	1名	
国家一般職	1名	
大阪府警	3名	
奈良県警	2名	
兵庫県警	2名	
滋賀県警	2名	
北海道警	1名	
高知県警	1名	

法科大学院		6名
甲南大学法科大学院（既修）	3名	
同志社大学法科大学院（既修）	2名	
関西大学法科大学院（既修）	1名	

大学院		8名
神戸大学大学院法学研究科	1名	
神戸大学大学院経済学研究科	2名	
大阪市立大学大学院経営学研究科	1名	
大阪市立大学大学院経済学研究科	1名	
大阪大学大学院経済学研究科	2名	
京都大学大学院経済学研究科	1名	

合計	247名
----	------

大学事業計画・大学予算収支

2015年度大学予算及び事業計画が、3月23日の理事会において、承認可決されました。ここに、その概要を公表いたします。

本学は、高等教育機関に課せられた社会的使命及び公共的責務を果たすべく、各学部学科・研究科の教育目標と養成する人材像の実現に向け、事業計画を着実に実行してまいります。

本学の教育研究活動に、引き続き、ご理解を頂きますようお願いいたします。

1 志願者・入学者の確保

○経済学部経済学科・経営学科及び法学部法律学科における教育の特色と実績を広報し、入学定員に基づき、入学者を確保します。

○国際学部の入学生定員に基づき、入学者を確保するため、設置認可申請中のPR活動、認可後の広報・学生募集を計画的に実施します。

○高度専門職業人をめざす意欲あふれる志願者・入学者を確保する

ため、大学院経済学研究科の広報を実施します。

2 就業力の育成・キャリア支援

○各学部の人材養成と特性を踏まえたキャリア支援を全学的に推進します。

○学生の円滑な就職活動を支援するため、業界・企業研究やキャリアガイダンス等をはじめとする年次別キャリア支援プログラムを充実させます。

○初年次からの順次的・体系的なキャリア教育プログラムの整備をさらに進め、就業意欲の向上と就業力育成に資する教育を充実させます。

○国際理解力、国際コミュニケーション力、国際ビジネス力、国際協働力の諸能力を備えたグローバル人材を育成するためのプログラムを充実させます。

○企業との関係を強化し、成長分野を含む新規求人企業を開拓します。

○女子学生に対する総合的な

キャリア支援プログラムを充実させます。

3 経済学部・大学院経済学研究科

○経済学部経済学科・経営学科2学科8コースの「学位授与の方針（DP）」「教育課程の編成・実施の方針（CP）」に基づき、経済学部専門教育の質の向上を図ります。

○専門演習において、卒業論文・卒業レポート、学生研究発表大会の充実に向けた教育を強化し、学修・生活・進路指導を充実させます。

○学部共通及びコース別の年次別学修目標に、着実に到達できるよう、学生の順次的・体系的な学修を支援します。

○希望進路の実現に向け求められる能力を育むことができるよう専門教育を充実させ、就業力を強化します。

○公認会計士試験合格者及び税理士試験科目合格者輩出並びに学部推奨資格取得に向けた指導を強化します。

○高度な学修を行う各種アドバン

ストプログラムを充実させます。

○少人数教育を基礎とし、アクティブラーニングや双方向型の教育方法、PBL（課題解決型学修）をさらに充実させます。

○留学生に対して、専門学修において求められる日本語能力を修得させるための授業を実施し、学修支援及び大学院進学に向けた進路支援を強化します。

○現代社会が直面する経済的諸問題に対して解決の方策を提案できる高度の専門的職業人育成をめざして、大学院経済学研究科の初年度の教育研究を着実に実施します。

4 法学部

○法学部法律学科のDP、CPに基づき、4コース16モデルの新カリキュラムを着実に実施し、教育の質向上を図ります。

○公務員合格実績の向上に向け、初年次から4年次演習「公務員特別演習ⅢA」に至るまでの指導体制を強化します。

○法科大学院及び法律専門職の

合格実績向上に向け、「法曹特別演習」など正課における個別指導体制を強化します。

○現代社会キャリアコースにおける幅広い進路と学びの体系を学生に示し、社会の様々な分野で生じる法的問題を的確に処理する能力の育成と希望進路の実現のための指導を強化します。

○個々の学生の希望進路に応じた道筋と各学期の到達目標を学生に示し、進路指導及び履修指導を一層充実させます。

○法学部推奨資格「宅地建物取引士」を始めとする資格取得の指導を強化します。

○専門演習の教育力の向上に向けた組織的な取組を行い、学修・生活・進路指導を充実させます。

5 教養部

○各学部のDP、CPを踏まえ、本学学生として共通して求められる基礎力を養成するための教育プログラムとして、共通教育科目から構成される「経法スタンダード」をさらに充実させ、教育の質向上を図ります。

○初年次演習（大学演習）において、2年次以降の学業の土台となる基礎力を育成します。

○情報活用能力の育成に向け、初

年次における情報教育のさらなる改善を図ります。

○初年次における集中的な日本語能力の向上に力点を置き、留学生に対する日本語教育のさらなる強化に取り組みます。

○英語系資格、情報系資格対策を強化します。

6 国際学部の開設に向けた取組

○国際学部が掲げる養成する人材像を実現するための教育研究活動を準備します。

7 授業内容方法を改善し向上させるための教員の組織的な取組(FD)

○科目の位置づけと到達目標・個別の状況に合わせた授業改善を行い、学生の主体的な学びを引き出す双方向・能動型の授業を拡充します。

8 公務員志望学生のための支援対策

○公務員合格実績の向上に向け、正課内外における一般教養試験対策、受験直前対策プログラム、面接対策及び個別受験指導体制を強化します。

9 資格取得支援の強化

○就業力育成に向け、難関資格をめざすSコース(特修講座)及び資格講座内容をさらに充実させます。

10 国際教育及び国際化事業の推進

○海外協定校との国際交流事業を推進し、多様な国・地域から留学生を受け入れ、キャンパスの国際化を進めます。

○グローバル人材の育成に向け、正課授業及び国際教育プログラムを充実させます。

○日本語学習から進路・就職まで全学的な留学生支援を強化します。

11 学生支援

○豊かな人間性を涵養し、学生が仲間とともに成長する喜びを実感できるよう、課外活動等学生の自主的活動の活性化に向けた支援を強化します。

○学生の健康管理の充実を図り、悩みや学生生活上の課題に対するカウンセリング機能を強化します。特に、女子学生のキャンパスライフの充実に向けた支援を強化します。

12 ICT活用の推進と学術情報基盤の整備

○双方向・能動型授業や自学自習の活性化等、学問特性や教育方法等に応じたICTの教育への活用を拡充します。

○図書館における学修支援の充実、学術情報基盤としての図書館の整備を進めます。

13 地域連携・社会貢献

○八尾市・八尾市議会との協定等に基づき、八尾市との連携活動に努めます。また、大阪府中小企業家同友会等との連携、協力体制を強化します。

14 施設整備利用計画

○より快適に学生生活を送れるよう、花岡キャンパス八尾駅前キャンパスそれぞれのキャンパスの特性を活かした施設設備の運用・利用を進めます。

15 研究活動の活性化

○知的資源を有効活用し研究活動を活性化させ、各種外部資金の申請・採択件数及び交付額の増加をめざします。

16 職員的能力向上のための取組(SD)

○事業計画完遂に向けた職員の専門力量と業務遂行力量の向上のための取組を進めます。

17 自己点検評価活動の実施と認証評価受審のための準備

○2016年度に日本高等教育評価機構において、大学機関別認証評価を受審するため、自己点検評価活動を組織的・体系的に実施します。

2015年度 大学予算書 2015年4月1日から2016年3月31日

(単位:千円)

収入の部	
科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	2,564,896
授業料収入	2,410,756
入学金収入	150,000
その他納付金収入	4,140
手数料収入	47,307
入学検定料収入	44,750
試験料収入	57
証明手数料収入	2,500
補助金収入	54,000
大学整備充実資金運用収入	42,000
雑収入	7,538
収入の部合計	2,715,741

※この2015年度大学予算は、本学が予算管理目的のために設定している「大学の予算」の収支を勘定科目別に表示したものです。

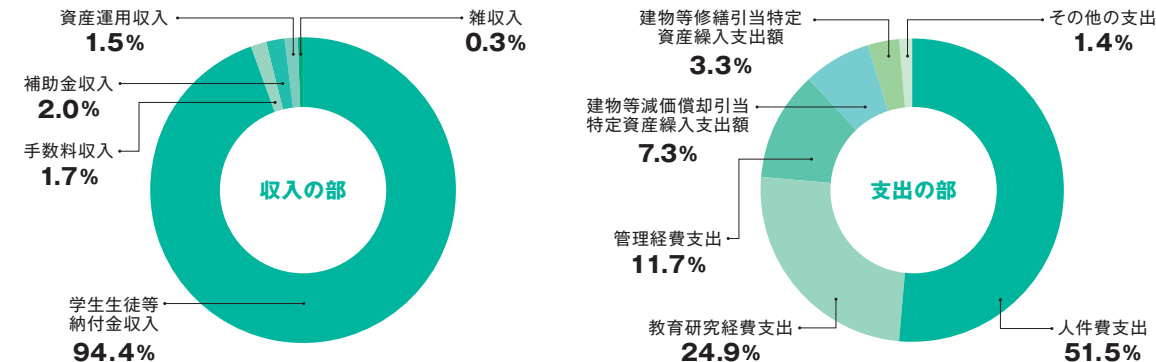
支出の部	
科 目	金 額
人件費支出	1,539,923
教員人件費支出	859,630
職員人件費支出	625,167
退職給与引当特定資産繰入支出額等	55,126
教育研究経費支出	743,164
報酬委託手数料支出	199,370
奨学費支出	165,579
光熱水費支出	84,891
その他教育研究経費支出	293,324
管理経費支出	349,642
印刷製本費支出	61,736
報酬委託手数料支出	40,541
旅費交通費支出	8,918
その他管理経費支出	238,447
建物等減価償却引当特定資産繰入支出額	214,045
建物等修繕引当特定資産繰入支出額	100,000
その他の支出	40,504
支出の部合計	2,987,278
当年度支出超過額	271,537

※当年度支出超過額は、大学将来対策引当特定資産を取り崩して補填する。

■ 大学整備充実資金 (2015年度期首残高) (単位:千円)

建物等減価償却引当特定資産	4,689,822
建物等修繕引当特定資産	187,462
八尾駅前キャンパス建築引当特定資産	45,396
退職給与引当特定資産	783,451
大学将来対策引当特定資産	353,228
合計	6,059,359

収支構成図



2015年度
大学予算収支
概要

収入について

2015年度の収入の概要は、以下のとおりです。(金額は、全て概算額です。)

①「学生生徒等納付金収入」
25億6千万円

新入生、在学生から納めていただく入学金、授業料、実習費等の学費です。本学における、主要な財源となっています。

②「手数料収入」
5千万円

入試の検定料や成績証明書など、各種証明書の発行手数料及

び、大学入試センター試験実施手数料です。

③「補助金収入」
5千万円

私立大学等経常費補助金で2014年度交付額を基準として計上しています。

④「大学整備充実資金
運用収入」
4千万円

大学整備充実資金の運用利息収入です。安全性と効率性を勘案し預金や国債で運用しています。大学整備充実資金の内容は次のとおりです。

- ・「建物等減価償却引当特定資産」(建物及び構築物の減価償却分を積立て、建物等の建替えや施設等の充実に活用する特定資産)
- ・「建物等修繕引当特定資産」(長期修繕計画に基づき、修繕費を積立てている特定資産)
- ・「八尾駅前キャンパス建築引当特定資産」(八尾駅前キャンパスの整備工事等を引当てた特定資産)
- ・「退職給与引当特定資産」(教職員の退職金の支給のために積立てている特定資産)
- ・「大学将来対策引当特定資産」

支出について

2015年度の支出の概要は、以下のとおりです。

①「人件費支出」
15億円4千万円

専任教職員や非常勤講師、嘱託職員、契約職員等に支払われる給与、手当及び退職給与引当特定資産繰入支出額などです。

②「教育研究経費支出」
7億4千万円

教育、研究に直接要する経費であり、前項の事業計画に沿って編成しています。今年度において主な

(大学の将来の充実・発展のために積み立てている特定資産。支出超過額の補填にも充当する。)

⑤「雑収入」
1千万円

科学研究費補助金(文部科学省による研究費助成)の間接経費その他の収入です。

内容は、①各種奨学費事業に1億7千万円、②特修講座や資格講座等の開講事業に4千万円、③キャリア支援や就職指導の充実事業に4千万円、④国際教育の充実事業に2千万円、⑤課外活動教育充実事業への支援事業に4千万円等となっています。

③「管理経費支出」
3億5千万円

教育研究活動を支える大学管理運営上の経費や、学生募集経費などです。

④「建物等減価償却引当
特定資産繰入支出額」、
「建物等修繕引当
特定資産繰入支出額」
3億1千万円

それぞれの特定資産の設定趣旨に基づいて、毎年度所定の金額を繰り入れます。

⑤「その他の支出」
4千万円

教育研究用の機器備品・図書などの購入費です。